## 当社野反ダム計測データの 不適切な取扱いに関する調査報告書 <図表集>

平成 18 年 12 月 12 日

東京電力株式会社

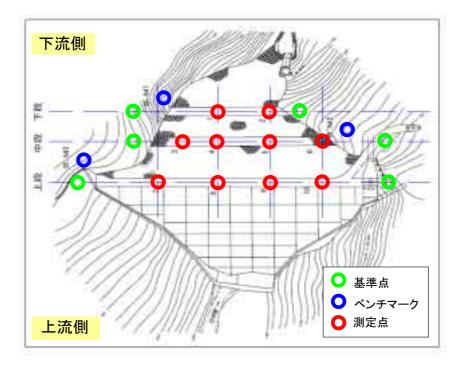
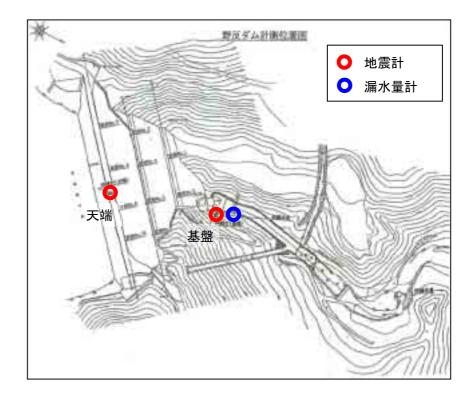


図-1 変形計測 測定点位置図





		沈下計測状況										
1 4	月	下段(No. 1, 2)	ф.	段(No.	З,	4,	5,	6)	上	段(No. 7, 8, 9, 10)		
S31	1月	ダム上段に11点、中段6点、下段6点の標的を設け、沈下測定を開始。										
	6月	野反ダム完成										
		0	0						0			
S32		0	0						0			
S												
S39												
	4月	沈下測定を9年間計測したが、ダムの沈	下量	は安定したも	のとキ	判断し	、以往	<b>後、</b> 計測	を中	中止した。		
5		-	—						—			
S45												
S45	10月	・当時建設省より、ダム沈下計測を実施	する	よう指摘を受	け、渡	則定点	を設す	置し測定	をS	345.10から再開した。		
		○ (上段4点、中段4点、下段2点)	0						0			
S46												
5		0	0						0			
	6月			・ダム中段に	-≣∿,ജ	±11-	7172	たちの				
	11月			・ダム中段に一部に基礎の								
S		0	0	62年11月に	口中段	の標的	约(No	.3~6)	0			
			Ŭ	を移設。					Ŭ			
H2												
H2										・ダム上段のNo.8、10の増分沈下量が大きいことを確認。現地確認の結		
										果、ダム上段の測定点が下流法肩に		
		0	0						×	設置されているため、積雪の影響に より傾いたものと判断(部分的な沈		
파	成6年に	し前は実測データなし								下であると判断した)。		
	告値の									・以降の上段№8、10の沈下量を補		
НЗ		0	0						×	正。		
H4		0	0						×			
H5	月	<ul> <li>・平成5年より、沈下測量方法を変更。各段に該</li> </ul>		てあるBMで沖つ	「景た、	副史オ	スちぎ	かんが		 20のBMで連結的に測量する方法に亦再		
	Б				· 里でん	R'I AE 9	2711			・ダム上段の測定点を現行の箇所		
		×	×						0	(道路中央部)に移設。		
H6		×	×						0			
H7	ļ	×	×						0			
H8		×	×						0			
H9		×	×						0			
H10		×	×						0			
H11		×	×						0			
H12		×	×						0			
H13		×	×						0			
H14		×	×						0			
					14.15	田士	z + .+	に赤古い				
CIH	5月	・沈下測量の測定方法を変更。(以前の各科		に回してのるBI	viぞ彼	н 9 <b>(</b>	の力式	1-変更)		I		
		0	0						0			
H16		0	0						0			
H17		0	0						Ο			
H18		0	0						Ο			
	-											

## 表-1 野反ダム計測に関する過去の経緯(沈下計測)

【凡例】

①計測方法の違いを色別に表示
 ②ダム挙動評価へのデータの使用の可否
 〇:挙動評価に使用
 ×:データ補正又は補正の可能性等により、挙動評価に使用しない
 -:データなし

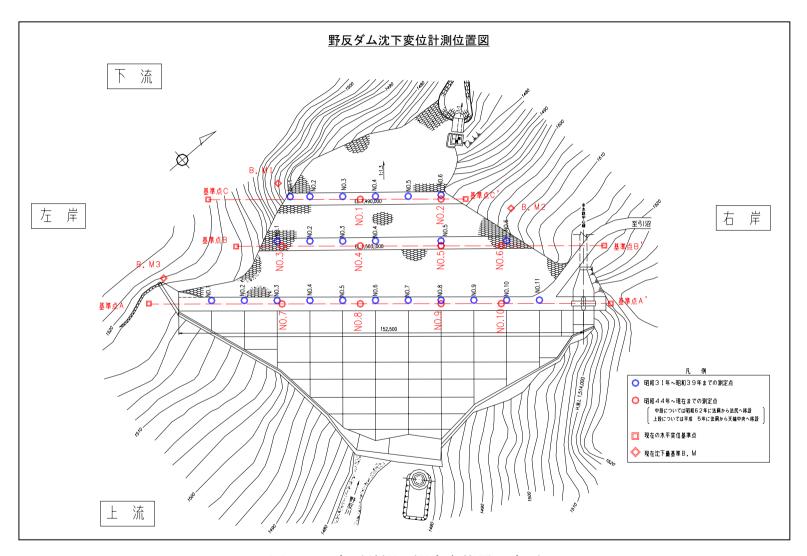






写真-1 No. 10 測定点状況(平成2年)



写真-2 No. 10 測定点状況(現在・遠景)



写真-3 No. 10 測定点状況(現在・近景)



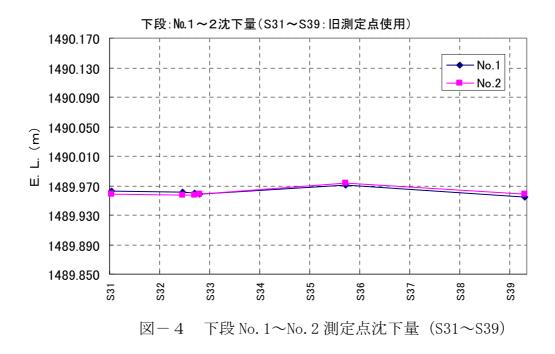
写真-4 上段ベンチマーク (BM3) 状況 (現在)

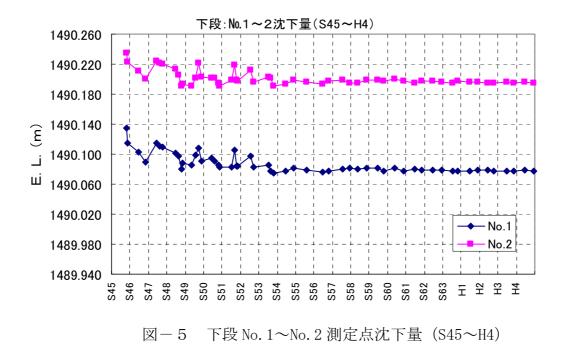


写真-5 中段ベンチマーク (BM2) 状況 (現在)



写真-6 下段ベンチマーク (BM1) 状況 (現在)





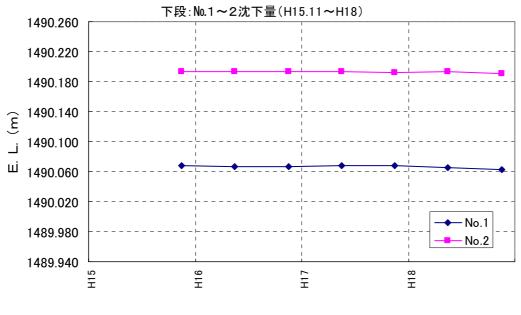
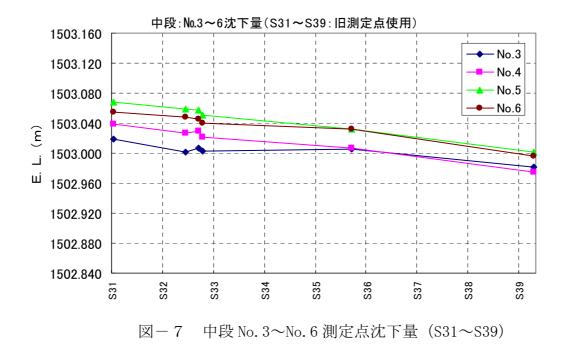
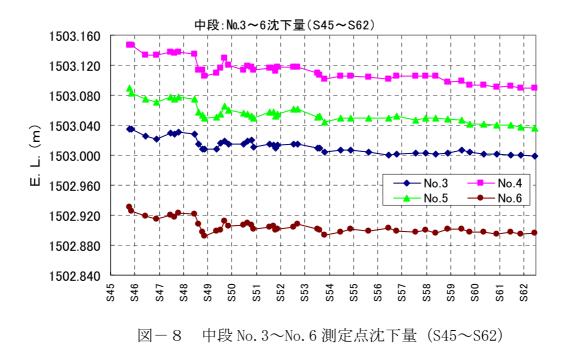
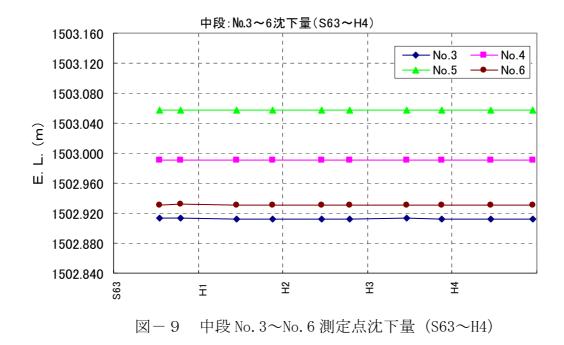
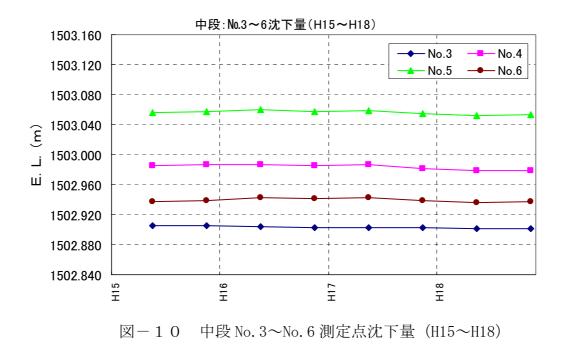


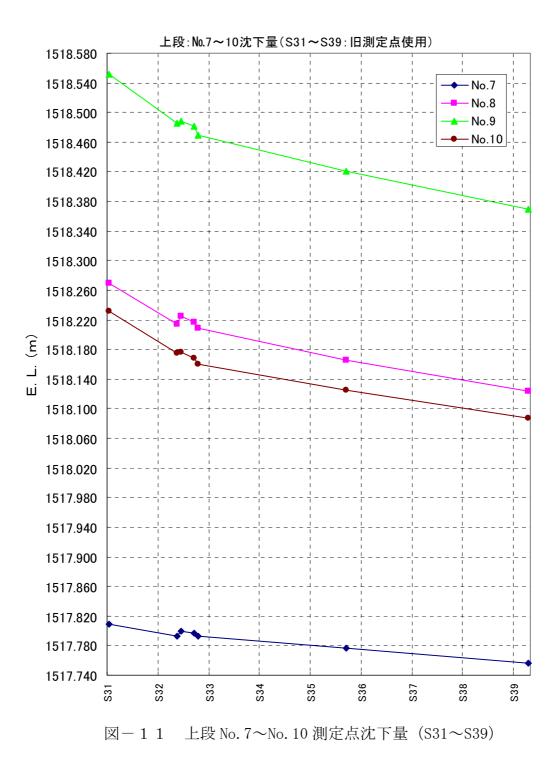
図-6 下段 No. 1~No. 2 測定点沈下量(H15~H18)

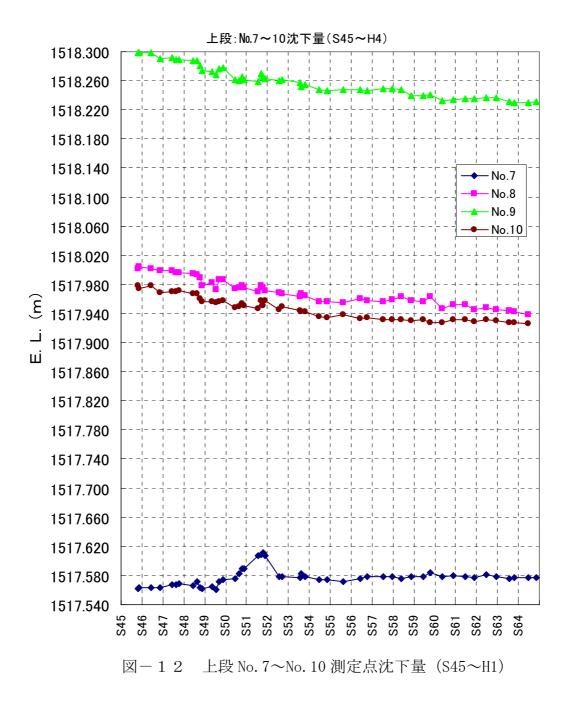


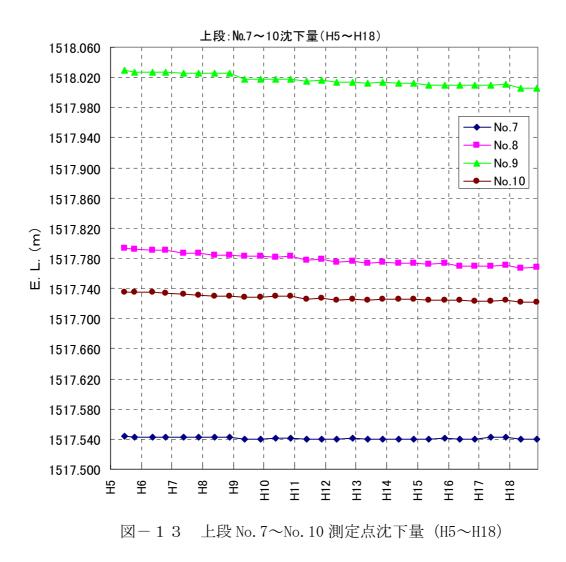












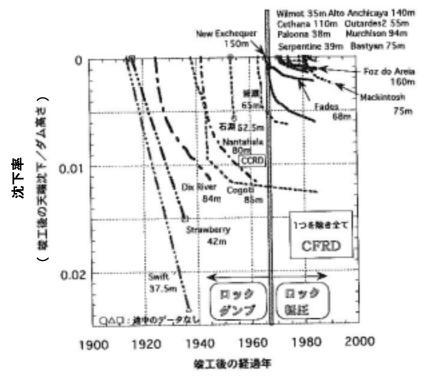
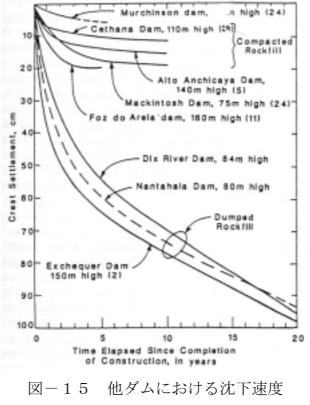


図-14 投石工法のダムにおける竣工後の沈下率 ※【参考文献】1)より引用



※【参考文献】2)より引用

1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	Approximate Rate of Crest Settlement for 100-m- High CFRD (mm/yr)							
Туре (1)	After 5 yrs	After 10 yrs	After 30 yrs					
	(2)	(3)	(4)					
Compacted rockfill	3.5	1.5	0.6					
Dumped rockfill	45	30	10					

表-2 投石工法による 100m 級ダムの経年的な沈下量 ※【参考文献】2)より引用

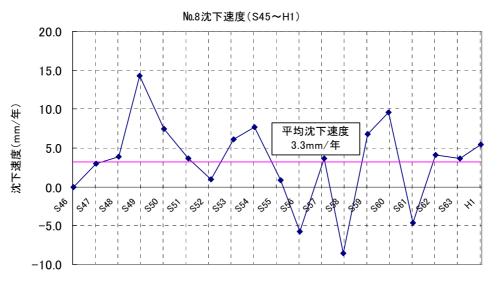


図-16 NO.8 測定点沈下速度(S45~H1)

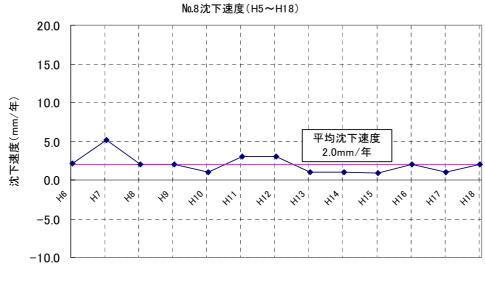


図-17 NO.8 測定点沈下速度(H5~H18)

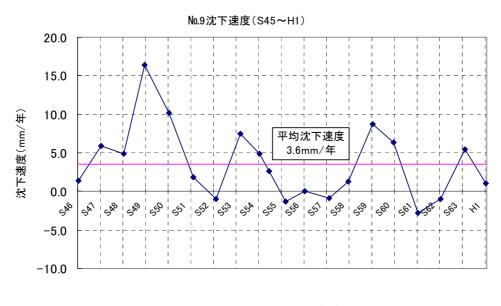


図-18 NO.9 測定点沈下速度(S45~H1)

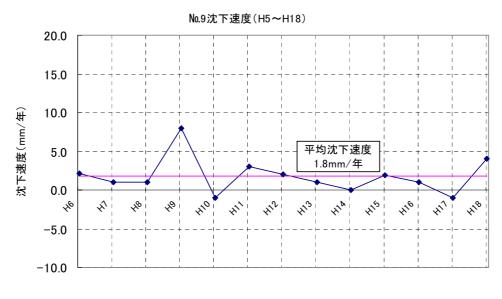


図-19 NO.9 測定点沈下速度(H5~H18)

年月		上下流方向水平変位計測状況															
Ŧ	-月	٦₹	没(No.	1, 2)		中尉	₿(No.	З,	4,	5,	6)	上剧	₿(No.	7,	8,	9,	10)
S31			マム完成														
000	11月	—	変位計測につ	いては実施して	いない。	—						—					
S32 5 S56		_				_						_					
S57	7月	・タ	「ム定期検査時	時において「本体	ダム軸の	水平到	変位を測定す	ること	ے ا	の指摘	らを受け、	水	平変位の測定	ÈをS5	57年7	7月か	ら開始。
		0	(上段4点、	中段4点、下段	设2点)	0						0					
S58		0				0						0					
S59		0				0						0					
S60		0				0						0					
S61		0				0			N . 1		177 / 1	0					
S62	6月 11月	0				<u> </u>	・ダム中段  一部に基礎( 62年11月  を移設。	のゆる	みを確	認。	昭和	0					
S63		0				0						0					
H1		0				0						0					
H2		×	平成6年以 報告値のみ	前は実測データな +存在	まし	× (	<ul> <li>・ダム中段</li> <li>・ダム中国</li> <li>・ダムのにていること</li> <li>・ダムのにている</li> <li>・ダムのにている</li> <li>・ダムの</li> <li>・</li> <li>・&lt;</li></ul>	雍基をの多平 陸準確水動成5	食い違 が 下 流 。 変 位 の 目 二 の の に 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の で 、 の の の の	記 記 (NO.: の 補 正 修 し、	生じ、 移動し 3~6) を実	×					
HЗ		×				×						×					
H4		×				×						×					
H5 H6	5月	××					・道路山側( こ、中段右) 更。					00	・ダム天端 段測定点( から現行の	NO.7	~1C	)を	下流法肩
H7		0				0						×	・平成7年 が積雪の影	よりら	「ム上	没右岸	■基準点
H8		0				0							確認。				
H9		0				0						×	・ダム上段 斜相当の補			は基準	隼点の傾
H10		0				0						×					
H11		0				0						×					
H12		0				0						×					
H13		0				0						×					
H14		0				0						×					
H15	5月	0				0						0	・信濃川河 基準点の改				
H16		0				0						0			파가山		アこ大心
H17		0				0						0					
H18		0				0						0					

## 表-3 野反ダム計測に関する過去の経緯(水平変位)

【凡例】

①計測方法の違いを色別に表示
 ②ダム挙動評価へのデータの使用の可否
 〇:挙動評価に使用
 ×:データ補正又は補正の可能性等により、挙動評価に使用しない
 -:データなし



写真-7 中段右岸道路擁壁(基準点 B' 近傍) 食い違い状況:遠景(平成2年)

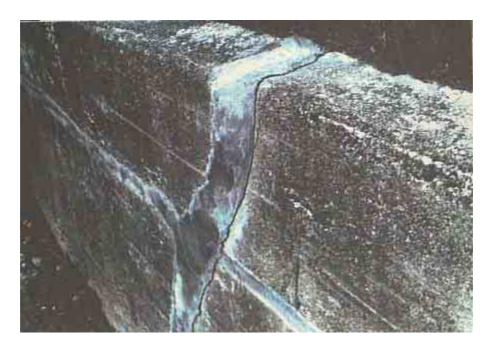


写真-8 中段右岸道路擁壁(基準点 B'近傍) 食い違い状況:近景(平成2年)



写真-9 上段右岸基準点 A'の傾斜状況



写真-10 上段右岸基準点 A'の現状

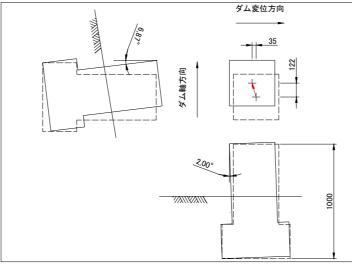
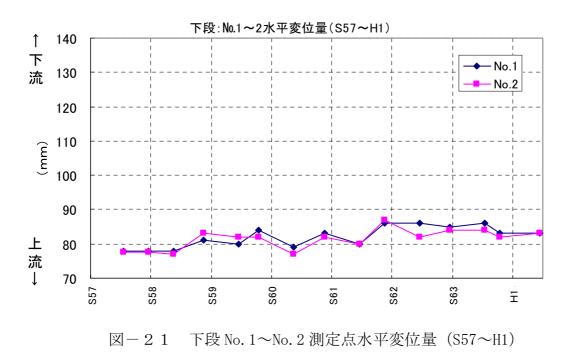
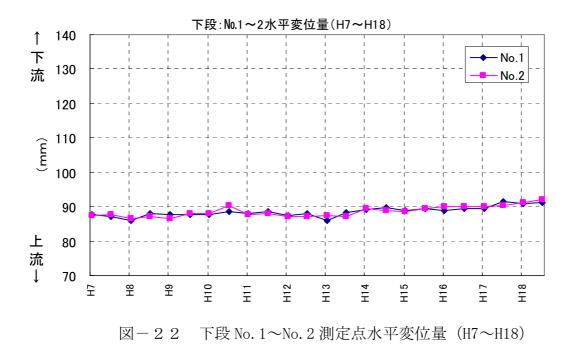


図-20 上段右岸基準点 A' 傾斜のイメージ





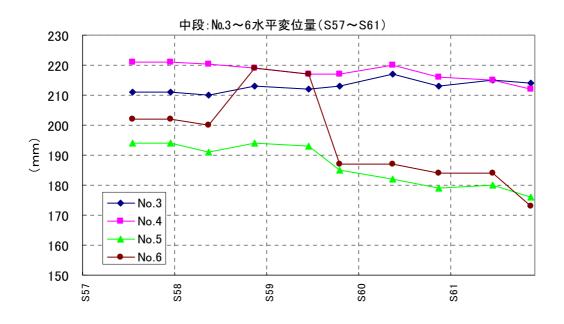


図-23 中段 No. 3~No. 6 測定点水平変位量(S57~S61)

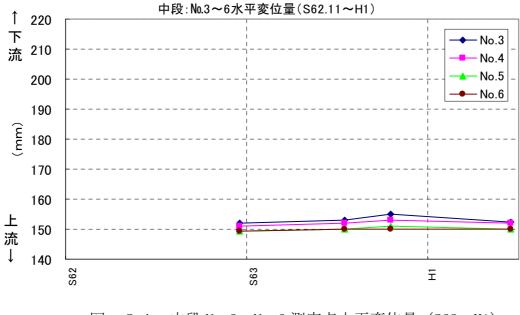
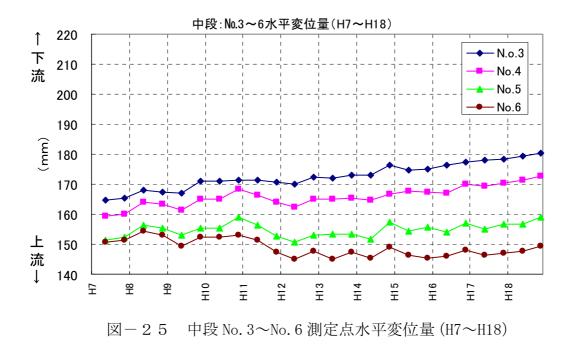
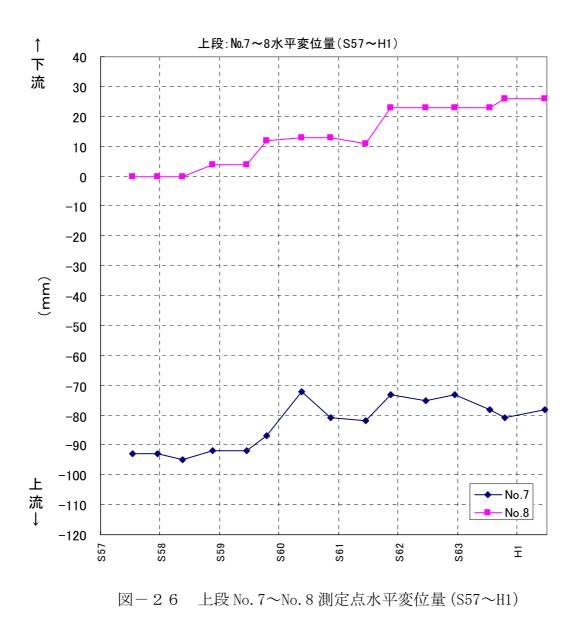
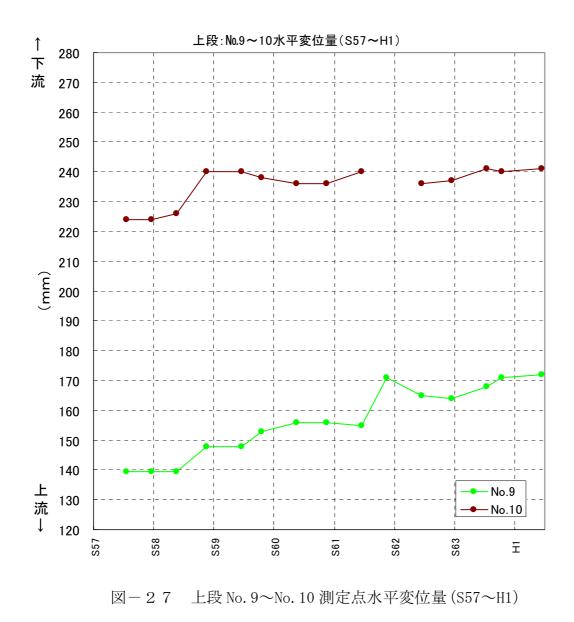
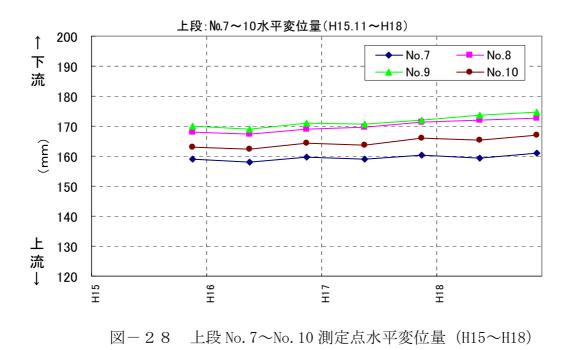


図-24 中段 No. 3~No. 6 測定点水平変位量(S62~H1)









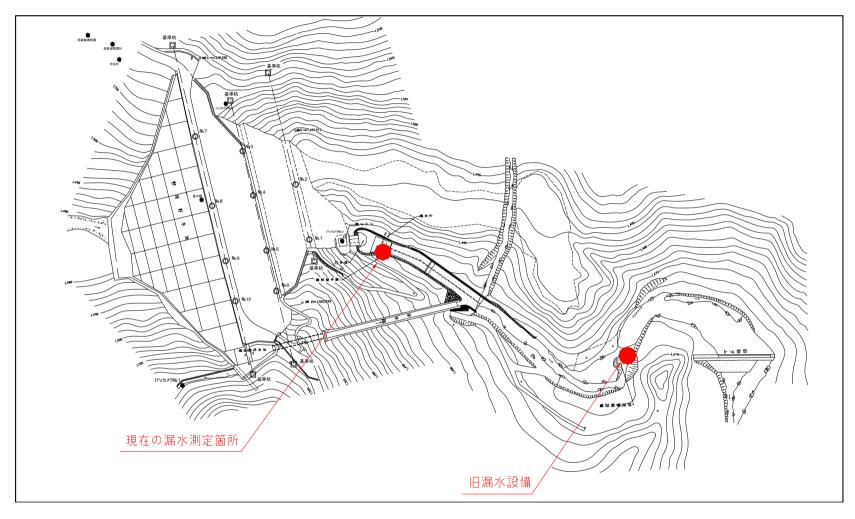


図-29 漏水測定設備位置図

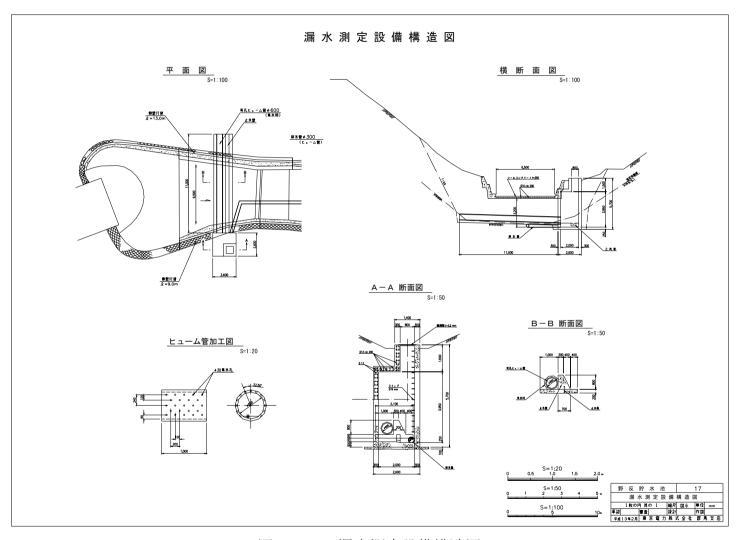
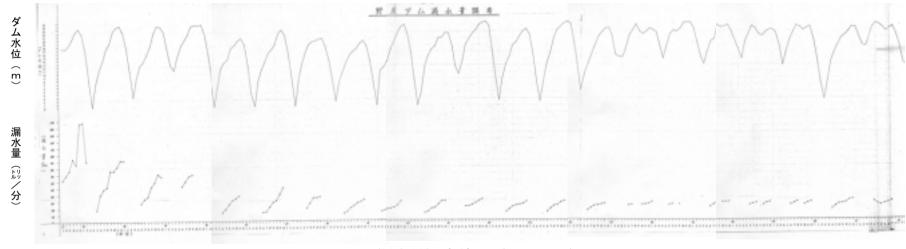
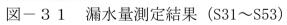


図-30 漏水測定設備構造図





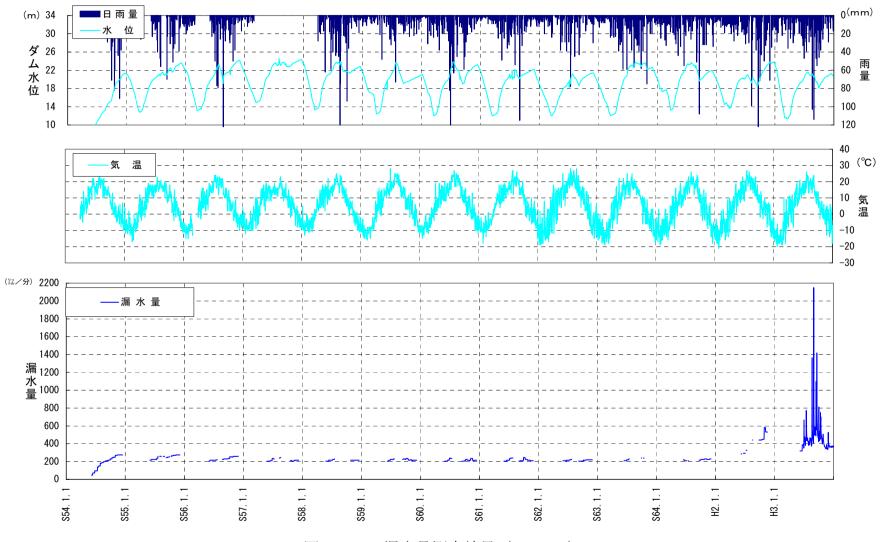


図-32 漏水量測定結果 (S54~H3)

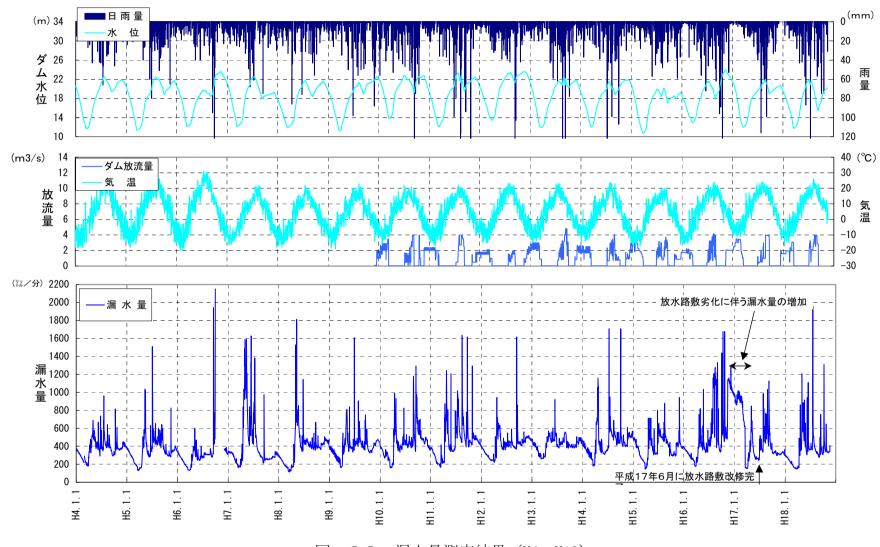


図-33 漏水量測定結果(H4~H18)

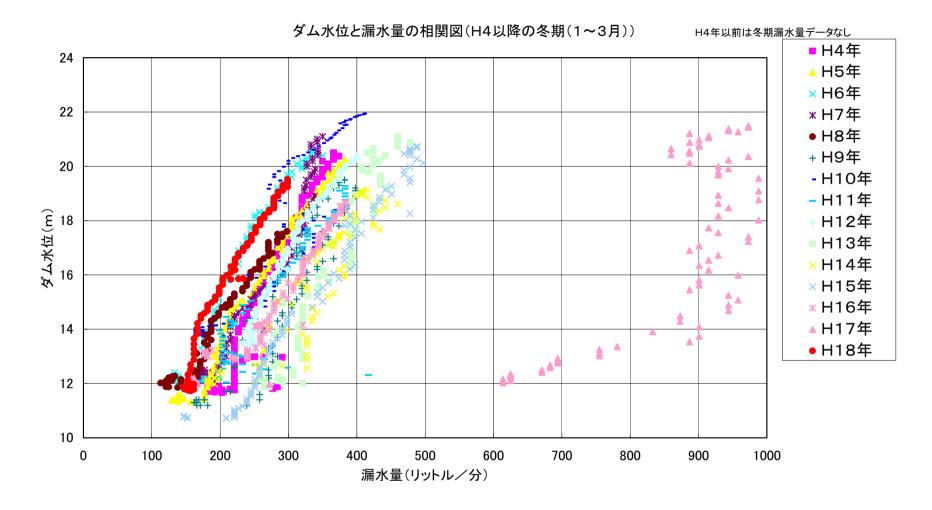


図-34 漏水量-ダム水位相関図(H4~H18)

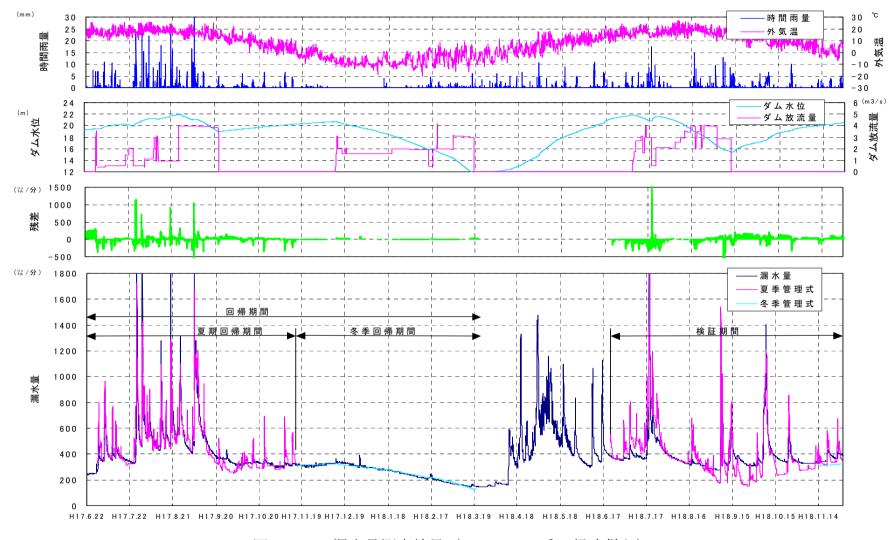


図-35 漏水量測定結果(H17~H18:重回帰式併記)

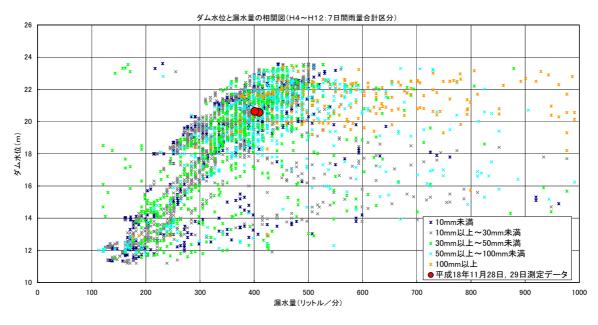


図-36 平成18年11月28,29日の漏水量測定値の既往データとの比較

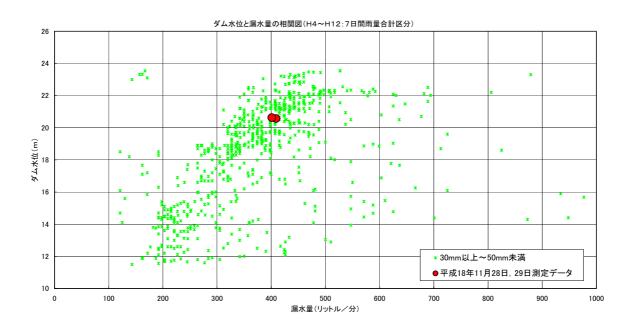


図-37 平成18年11月28,29日の漏水量測定値の既往データとの比較 (7日間合計雨量30~50mmの場合のみ)

発生日時		震度				最大加证	速度(gal)					
					天端			基礎		深度	規模	震源地
		六合村日影	六合村小雨	Х	Y	Z	Х	Y	Z			
1986年11月29日	7:29:35	_	-	2.59	1.59	0.85	0.5	0.65	0.45	42km		茨城県沖
1986年12月30日	9:38:32	_	-	6.52	9.22	3.61	1.38	2.6	1.12	3km		長野県北部
1987年2月6日	22:16:15	_	-	2.04	1.75	0.9	0.84	1.15	0.53	35km	M:6.7	福島県沖
1987年4月7日	9:40:43	_	-	1.86	1.37	0.81	0.68	1.16	0.62	44km		福島県沖
1987年4月23日	5:13:23	_	-	1.71	1.21	0.74	0.45	0.58	0.35	47km	M:6.5	福島県沖
1990年12月7日	18:40:44	-	-	5.96	3.81	2.96	1.04	1.26		4km		新潟県中越地方
1995年1月7日	21:34:39	_	-	5.18	4.19	3.13	1.66	1.58	0.93	71km		茨城県南部
1996年12月21日	10:28:48	3	-	11.05	6.21	4.21	1.31	1.63	1	53km		茨城県南部
1998年2月21日	9:55:42	1	-	13.12	13.43	6.18	3.67	2.18	1.7	19km	M:5.2	新潟県中越地方
1999年1月28日	10:25:46	1	3	-	-	-	—	-	-	9km	M:4.8	長野県中部
1999年12月16日	22:28:32	2	3	16.64	6.36	5.57	0.98	1.6	1.22	9km	M:4.3	栃木県北部
2000年7月21日	3:39:19	2	3	-	-	-	-	—	-	49km	M:6.4	茨城県沖
2001年1月4日	13:18:21	2	3	34.41	32.39	17.95	5.98	6.64	3.58	11km		新潟県中越地方
2004年10月23日	17:56:00	3	4	-	-	-	—	—	-	13km	M:6.8	新潟県中越地方
2004年10月23日	18:03:13	3	2	(40)	(26)	(34)	(7)		(9)	9km	M:6.3	新潟県中越地方
2004年10月23日	18:11:57	2	3	(11)	(9)	(8)	(3)	(2)	(1)	12km	M:6.0	新潟県中越地方
2004年10月23日	18:34:06	3	3	-	-	-	_	—	-	14km	M:6.5	新潟県中越地方
2004年10月27日	10:40:50	3	3	(14)	(14)	(16)	(4)	(4)	(3)	12km		新潟県中越地方
2005年4月5日	20:02:44	1	-	10.77	14.39	7.66	5.43	4.36	1.68	4km	M:3.3	新潟県中越地方
2005年6月9日	12:30:17	1	2	25.24	16.76	13.59	5.91	3.38	4.19	0km	M:4.1	長野県北部
2005年7月23日	16:34:56	2	2	4.01	3.37	1.67	1.51	1.31	0.7	73km	M:6.0	千葉県北西部
2005年8月16日	11:46:26	2	3	3.86	2.95	1.82	1.59	1.97	0.93	42km		宮城県沖
2005年8月21日	11:29:30	1	3	10.79	5.51	3.23	1.28	2.14	1.17	17km	M:5.0	新潟県中越地方
2005年9月4日	13:01:03	2	1	4.91	11.56	7.4	2.94	2.04	2.04	5km	M:2.9	新潟県中越地方
2005年9月4日	13:05:21	2	1	6	12.9	11.06	4.72	2.86	3.51	5km	M:3.3	新潟県中越地方
2005年10月19日	20:44:43	2	3	-	-	-	-	-	-	48km		茨城県沖
2005年12月11日	13:33:41	2	2	13.59	10.07	12.65	2.01	2.06	1.74	5km	M:3.6	新潟県中越地方
2006年12月6日	18:19:00	1	2	[63]	[49]	[41]	[8]	[12]	[11]	10km	M:3.2	群馬県北部

表-4 既往の地震計記録及び近傍の気象庁観測地点の震度階

※野反ダムから震度観測点までの距離:六合村日陰 17km、六合村小雨 13km

※表中の[]は、ダム管理箇所で確認した速報値を記載。

※平成15年5月から平成16年11月の間については、地震計のデーターロガー故障により、データが記録されていない。

ただし、計測機能は正常に動作しており、最大加速度の記録のみをダム管理箇所へ送信、一部のデータは記録されている。

表中の()は、その際にダム管理箇所で記録したデータを記載。

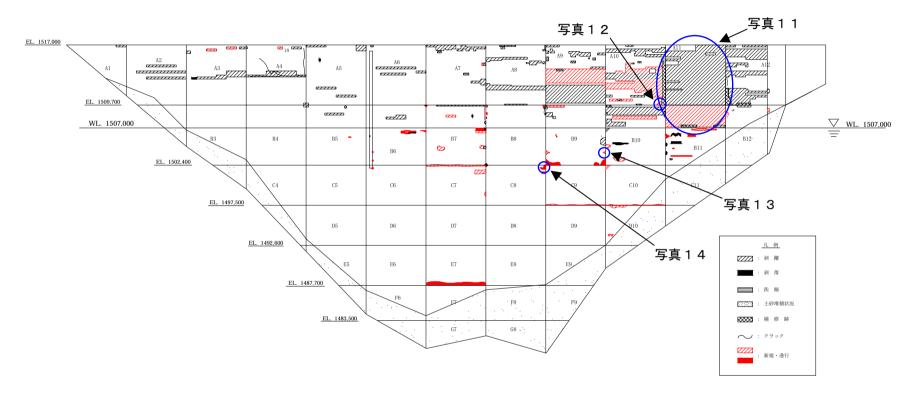


図-38 コンクリート遮水壁点検結果展開図



写真-11 表面遮水壁劣化状況 (気中部:A11, B11ブロック)



写真-12 表面遮水壁剥落状況 (気中部:A10ブロック)



写真-13 表面遮水壁ジョイント周辺状況 (水中部: B9ブロック)



写真-14 表面遮水壁ジョイント周辺状況 (水中部:C8ブロック)